

2017 年度

多摩美術大学大学院

美術研究科

博士後期課程

学生募集要項

目次

多摩美術大学アドミッション・ポリシー	03
入試コンセプト	03
募集人員	03
出願資格	03
受験上の配慮について	04
受験前における教員との事前確認について	04
出願期間	04
出願手続	05
入学願書・受験票記入例（博士後期課程）	08
受験上の注意	10
受験票について	10
入学試験会場	10
試験当日の実施情報	10
選考方法	11
入学試験日程	11
採点基準	12
合格発表	12
入学手続期限	12
学費	12
入学	13
論文指導について	13
個人情報の取り扱いについて	13
大学資料について	13
願書提出先および入学試験に関する問い合わせ先	13
大学院美術研究科 博士後期課程 論文担当教員	14
大学院美術研究科 教員構成	15
美術研究科入学試験会場（八王子キャンパス）への交通	16
八王子キャンパスマップ	17
各種奨学金制度および授業料減免制度	18

多摩美術大学アドミッション・ポリシー

- ・国内外の実績があり、領域を先導する表現に挑む人
- ・学際的な見識をそなえ、学術理論として問題提起できる人
- ・研究領域における指導力を有する人
- ・ローカルかつ国際的な視点を持ち、創造性を深く問い直せる人

入試コンセプト

美術・デザインの全般に通じる幅広い見識と技量を備えた将来の指導的地位につく人材の養成と、学術研究の著しい進展や社会の変化に対応できる総合的な判断力を備えた芸術家や芸術理論家の養成を目指しています。細分化された個々の領域における研究能力をみるための「提出論文」および「提出作品（創作系志望者のみ）」と、それらを包括的に編成した総合的な学問とのバランスをみるために「語学」「小論文」「口頭試問」を課しています。

募集人員

美術専攻

7名

出願資格

次のいずれかに該当する者。

1. 修士の学位又は専門職学位を有する者、および2017年3月までに授与される見込の者。
2. 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者および2017年3月までに授与される見込の者。
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者および2017年3月までに授与される見込の者。
4. 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者および2017年3月までに授与される見込の者。
5. 文部科学大臣の指定した者。
6. 本学において、個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者および2017年4月1日までに24歳に達する者。

個別の出願資格審査実施要項

博士後期課程出願希望者で「修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力」があるかどうかの「個別の出願資格審査」(学校教育法施行規則第156条第7号)を希望する者は、下記の書類を2016年10月25日(火)までに多摩美術大学入学センターへ提出してください。

◎申請手続書類

1. 博士後期課程出願資格審査申請書(所定用紙をダウンロードしてください) ※日本語で記載
2. 博士後期課程募集要項の出願書類のうち研究計画書および推薦書 ※日本語で記載
3. 学歴・職歴・研究歴、その他学力を証明する書類
(在籍証明書・成績証明書・卒業証明書・在職証明書等)

4. 美術に関する実務・職務経験等の経歴書または作品資料

- ・経歴書：A4判で形式自由（できるだけ詳しく書いてください）
- ・作品資料：ポートフォリオ（コピーでも可）

5. 修士論文またはそれに準ずる論文および上記論文内容の要約

※1、2の書類については、以下のURLよりダウンロードしてください。

<http://www.tamabi.ac.jp/admission/extra/screening.htm>

※外国の大学出身の場合、申請手続書類2～4については英語もしくは日本語の書類に限ります。その他の言語の場合は、公的機関で認証を受けた英語もしくは日本語の翻訳文を添付してください。

◎審査結果の通知

2016年11月中旬までに、審査結果を本人宛に発送します。

審査終了後、博士後期課程出願資格審査申請書以外の提出書類は返却します。

出願資格を有すると認定された場合は、募集要項に従い出願してください。

◎出願・問い合わせ先

多摩美術大学入学センター 〒192-0394 東京都八王子市鎌水2-1723

電話：042-679-5602 Fax：042-676-2935 E-mail：nyushi@tamabi.ac.jp

受験上の配慮について

身体機能に障がいがあるなど、受験上および修学上特別な配慮が必要な場合は、出願に先立ち、2016年10月25日（火）17:00までに必ず「八王子キャンパス入学センター（電話：042-679-5602）」まで問い合わせてください。

なお、入学試験直前に骨折するなど、緊急に受験上特別な配慮が必要となった場合についても、至急、上記問い合わせ先までご連絡ください。

受験前における教員との事前確認について

博士後期課程に出願するには、【大学院美術研究科 教員構成】（15ページ）を参照のうえ、事前に希望する指導教員と面談し、受験確認書（本学所定用紙・25ページ）に署名をもらったうえで提出する必要があります。指導希望教員との連絡方法が不明な場合は2016年9月30日（金）17:00までに八王子キャンパス入学センター（電話：042-679-5602/E-mail：nyushi@tamabi.ac.jp）まで問い合わせてください。

出願期間

2016年11月18日（金）から11月28日（月）まで（郵送必着）

※11月28日（月）に限り、八王子キャンパス入学センター窓口でも受け付けます。受付時間は13:00～16:00となります。

出願手続

次の中で該当する全ての書類を表面に「封筒表面用紙（29ページ）」を貼った任意の角2サイズ以上の封筒で一括郵送してください。

＝出願用本学所定用紙＝

1. 入学願書[20ページ]
2. 受験票・受験票発行控・振替払込請求書兼受領証コピー貼付 [21ページ]
3. 履歴書 [22ページ]
4. 研究計画書[23ページ]
 - －日本語で記入してください。
5. 推薦書（本学大学院修了者および他大学大学院出身者のみ厳封のうえ提出 [24ページ]
 - －本学大学院修了見込の場合、提出は不要です。
 - －英語もしくは日本語に限ります。
6. 受験確認書 [25ページ]
 - －指導教員に署名をもらったうえで提出すること（詳細は「受験前における教員との事前確認について（04ページ）」参照のこと）
7. 宛名記入用紙[28ページ]
 - －『受験票受取先』と『入試結果通知受取先住所』を記入してください。
 - －日本国外へ送付を希望する場合は、英語で記入してください。
8. 封筒表面用紙[29ページ]
 - －住所、氏名、電話番号を記入し、任意の角2サイズ以上の封筒に貼り付けてください。
 - －日本国外から出願する場合は不要です。

＝出願者が用意するもの＝

9. 振替払込請求書兼受領証のコピー（検定料35,000円）

日本国内で検定料を払い込む場合

郵便局窓口備え付けの「払込取扱票」を使用し、以下の情報を記入して払い込みしてください。

口座記号・口座番号	00100 - 8 - 85550
加入者名	学校法人 多摩美術大学
金額	35,000円
通信欄	「2017年度 多摩美術大学 大学院美術研究科 博士後期課程 検定料」と記入してください。
ご依頼人	おところ、お名前・フリガナ・電話番号を記入してください。

－払い込み後に「振替払込請求書兼受領証」が返却されます。

出願の際は、「振替払込請求書兼受領証」の コピー を「振替払込請求書兼受領証コピー貼付（21ページ）」に貼付けて提出してください。

－郵便局の受付局日附印が無い場合は無効です。

－検定料の払い込みは2016年11月11日（金）より受け付けます。

日本国外から検定料を払い込む場合

原則として、日本在住の知り合いの方に日本国内での払い込みを依頼してください。

日本在住の知り合いの方がいない場合は、下記の銀行口座に受験生本人の氏名で円建てにして海外送金してください。なお、送金時の手数料は振込人負担とさせていただきます（手数料額は利用する銀行により異なりますので、銀行窓口で確認し、大学への送金額（着金額）に過多・過少が無いようにお願いします）。

Paying Bank	Mizuho Bank, Ltd.jiyugaoka branch
Payee's Account No.	211208
Payee	TAMA ART UNIVERSITY
Bank Code	0001
Branch Code	0533
Swift Code	MHCBJPJT
Address	1-29-9 JIYUGAOKA MEGURO-KU TOKYO JAPAN

- －出願の際は、「振替払込請求書兼受領証コピー貼付（21ページ）」の所定欄に☑を入れ、銀行所定の海外送金申請書の コピー を出願書類に同封してください。
- －海外送金の際の手数料は振込人負担とさせていただきますのでご了承ください（手数料額は銀行窓口にてお尋ねください）。
- －海外送金方法についての問い合わせは経理部（042-679-5603）までお願いします。
- －検定料の払い込みは2016年11月11日（金）より受け付けます。

10.写真

- －同一のもの3枚（入学願書、受験票、受験票発行控に貼付）。
- －半身像、無帽、無背景、縦4cm×横3cm、出願前3ヶ月以内に撮影したもの。
- －裏面に氏名を必ず記入。
- －入学願書に貼付された写真を利用して、入学後から卒業まで使用する学生証を作成します。

11. 論文およびその要約(全員提出)

- ・修士論文またはそれに準ずる論文（コピー可／以下「提出論文」と記す）
- ・提出論文の内容に関する要約（2,000字程度、日本語に限る）
 - －用紙に出力したものをクリップ等で留めて提出すること。
 - －提出論文の文字数については、創作系志望者は10,000字〔英語の場合は6,000 words〕程度、理論系志望者は24,000字〔英語の場合は14,400 words〕程度とします。
 - －提出論文には、自己の記述であることを証明する出身大学院等の主任教員等の証明書（提出論文証明用紙〔26ページ〕）を必ず添付してください。ただし、本学大学院博士前期課程（修士課程）修了見込者および研究生については不要です。
 - －執筆中の場合は、要約を出願期間内に提出し、論文については2017年1月7日（土）までに提出すること。その際、入学願書の提出論文タイトル欄に「執筆中」と記入すること。

12. 提出作品資料(作品を提出する者のみ)

- －入学試験期間中（搬入2017年1月23日～搬出2017年1月26日）に大学に提出できる作品の資料（過去2年以内の作品および修士作品に限ります）。
- －各作品の①写真②作品名③作品の種類④材質・形式⑤サイズ⑥重量⑦提出希望順位を明記した資料を提出してください。
- －提出作品は、志願者全員の作品設置面積を勘案して1人1～3点以内で決定・指示します（提出希望順位とは異なることがあります）。

13. 出身大学院等の成績証明書と修了証明書(または修了見込証明書)

- －外国の大学出身の場合、証明書は英語もしくは日本語に限ります。その他の言語の場合は、公的機関や日本語学校で認証を受けた日本語の翻訳文を添付してください。
- －外国の大学出身で、修了証明書に修士号（M.A.等）の取得表記がない場合は、修了証明書と合わせて修士号取得証明書を提出してください。

- － 本学大学院出身者は不要（在学学生含む）。
- － 修士号取得証明書が原本（一部）しかない場合は出願時にコピーを提出し、試験当日に原本をお持ちください。
- － インターネットで発行された証明書の提出は認めません。

14. 日本語学校の成績証明書および出席証明書（外国人留学生のみ）

- － 2016年4月以降に日本国内の日本語学校に在籍している者または在籍していたことがある者のみ提出。
- － 学校の公印が押された正式な証明書。
- － 本学大学院修了見込者および本学研究生は提出不要。
- － 証明書は英語もしくは日本語に限ります。

15. パスポートの写し（外国人留学生のみ）

- － 顔写真ページのコピーを提出してください。

16. 在留カードの写し（日本国内に在留の外国人留学生のみ）

- － カードの表裏両面の写しを提出。
- － 裏面に記載がない場合も、必ず表裏両面の写しを提出してください。

注意：いったん受理した提出論文・提出作品資料その他全ての提出物および検定料は事由のいかんを問わず返還しません。

： 入学志願者と出願手続の証明書等の姓または名が異なる場合は、同一人物であることを証明する書類（戸籍抄本等）を提出してください。

： 「論文およびその要約」と「提出作品資料（創作系志望者のみ提出）」は出願書類と同封してください。

： 出願書類に虚偽の記載をした場合は入学取消もしくは退学となることがあります。

入学願書・受験票記入例（博士後期課程）

- 以下の記入例を参照して、願書・受験票に記入してください。
- 黒インクまたは黒ボールペンを用いて、楷書で丁寧に記入してください。
- 消せる筆記具（フリクションボールなど）で記入しないでください。

入学願書

英語氏名

パスポートの表記で記入してください。

出願資格

「国立」「公立」「私立」「その他」のいずれかを○で囲んでください。

語学解答語種

外国人留学生のみ日本語、英語のいずれかを選択して○で囲んでください。

希望指導教員

15ページの【大学院美術研究科教員構成】を参照し、志望する専攻・研究領域から実技指導（芸術学専攻については論文指導）を希望する教員と事前面談し、許可を得たうえで氏名を記入してください。

緊急連絡先

入学試験に関して連絡する場合があります。外国在住者は、日本国内の連絡先を記入してください。

写真

入学願書、受験票、受験票発行控には同じ写真を3枚貼ってください。

2017年度 多摩美術大学 大学院 美術研究科 博士後期課程入学願書

博士後期課程入学試験

※受験番号

フリガナ	タ マ ビ	ヨ シ オ
氏名	多摩美	美 雄
英語氏名 (family)	Tamabi	(first) Yoshio (middle)
生年 月 日	1 9 9 2 0 6 2 8	年齢 2 4 性別 ☒ 男 ☐ 女
外国籍 日本国籍以外の者は記入	在留資格 日本国籍以外の者は記入	在留期限 日本国籍以外の者は記入
出願資格 (国立・公立・ ☒ 私立・その他)	多摩美術	大学大学院
出願資格の大学院の卒業見込・卒業状況	2 0 1 7 0 3 修了 ☒ 修了見込	学籍番号 31521999
語学 解答語種	外国人留学生のみいずれかを○で囲むこと (日本語 ・ 英語)	小論文 解答語種
希望 指導教員	15ページを参照して、指導を希望する教員の許可を得たうえで、教員名（1名）を記入してください。 ○ ○ ○ ○	全員希望する語種を○で囲むこと (☒ 日本語 ・ 英語)
本人 現住所	〒192-0394 東京都八王子市鎌水2-1723	Tel. 042-679-5602 携帯電話 090-XXXX-XXXX e-mail tamabiyoshio@tamabi.ac.jp
緊急 連絡先 (日本国内)	〒100-0507 山梨県南都留郡山中湖村山中 1213	Tel. 0555-XXXX-XXXX 氏名 多摩美一郎 続柄 父

●提出作品等

提出論文（コピー可） およびその要約	/ 部	タイトル ○○○○ [執筆中]
提出作品資料 ■あり □なし	/ 冊	注）大学に提出できる作品（過去2年以内の作品および修士作品に限ります）
その他 ()	□あり ■なし	冊 枚 内容

注意：楷書で正しく記入してください（黒ボールペン使用）。消せる筆記具（フリクションボールなど）で記入しないでください。
：※印欄は記入しないでください。
：出願後は、提出論文、提出作品資料の追加ならびに変更は認めません。

小論文解答語種

全員希望する語種を○で囲んでください。

受験票・受験票発行控・振替払込請求書兼受領証コピー貼付

写真
入学願書、受験票、受験
票発行控には同じ写真を
3枚貼ってください。

2017年度
多摩美術大学 大学院博士後期課程 受験票

※受験番号

志望
美術専攻

フリガナ
氏名
英語

タ マ ビ
多摩美
Tamabi

ヨ シ オ
美 雄
Yoshio

性別
男 女

※印欄は記入しないでください

試験場において本人と写真を照合します。

注意

1. 試験開始30分前までに必ず試験場に入場してください。

2. 受験票を持参しないと試験場に入場できません。

3. 試験中は大学係員の指示・注意に従ってください。

4. 試験中、指定された位置に受験票を提示してください。

5. 用具の貸し借り、共用は認めません。

6. 試験中は携帯電話・PHS等の電源を必ず切ってください。

7. 受験票の紛失等、事故のあった場合は大学係員に申し出てください。

8. 受験票は入学時まで必要なので大切に保管してください。

9. 試験当日の実施情報は以下のURLをご覧ください（携帯電話・PC可）。

http://tamabi.ac.jp/adm

試験会場：多摩美術大学八王子キャンパス

※受験番号

博士後期課程入学試験

2017年度 受験票発行控

志望
美術専攻

フリガナ
氏名
英語

タ マ ビ
多摩美
Tamabi

ヨ シ オ
美 雄
Yoshio

性別
男 女

※印欄は記入しないでください

切りはなさないこと

博士後期課程入学試験
振替払込請求書兼受領証
コピー貼付

- 郵便局で検定料を払い込んだ後に返却される「振替払込請求書兼受領証」のコピーを右に貼ってください（原本は受験生本人が保管してください）。
- 海外から送金される方は、送金後に返却される「海外送金申請書」（送金銀行の受領印またはサイン入り）の「コピーを出願用封筒に同封」してください。また、右の「□ 海外から送金」の□に「✓」を入れてください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号
001008

加入者名
学校法人
多摩美術大学

金額
千 百 十 万 千 百 十 円
3 5 0 0 0

※おなまえ
ご依頼人
多摩美 美雄 様

料 金
円

日 附 印
八王子美
28.XX.15
8-12

備考

記載事項を訂正した場合はその箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

05ページ【出願手続】にしたがって、振替払込請求書兼受領書の「コピー」を貼り付けてください。原本は本人控えとして大切に保管してください。

受験上の注意

1. 必ず試験開始30分前までに試験場に入場してください。
2. 試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
3. 遅刻した場合は、いかなる理由であっても試験時間は延長しません。
4. 1科目でも試験を受けないと失格となり、以降の試験は受けられません。
5. 受験票を持参しないと試験場に入場できません。受験票を忘れた場合は入学センターに申し出てください。
6. キャンパス内では大学係員の指示、注意に従ってください。
7. 試験が午後にわたる場合は昼食を持参してください。キャンパス外に出ることはできません。
8. 用具などの貸し借り、共用は認めません。
9. 答案用紙の指定欄以外に本人の氏名や受験番号等を記入しないでください。
10. 各自の試験場および指定された場所以外には立ち入らないでください。
11. 試験場内に時計はありません。必要な方は各自持参してください。ただし、携帯電話やスマートウォッチおよび計算・辞書・通信・撮影機能などがある時計の使用は禁止します。また、秒針音の大きな時計は使用できない場合があります。
12. 試験中は、通信機器（携帯電話・PHS・PC等）の電源を必ず切ってください。
13. **試験当日、大学・駅周辺において、合否電報・電話等を扱っている業者があっても、これらは本学と一切関係がありません。**
14. 感染症（学校保健安全法で出席の停止が定められているインフルエンザ、麻疹（はしか）等）に罹患した場合、他の受験生や試験監督者等にひろがる恐れがありますので、原則として受験できません。
15. 天候や公共交通機関の乱れにより、試験の開始や終了の時刻、試験時間を調整することがあります。
16. 本要項に変更があった場合は、試験当日に指示します。

受験票について

1. 受験票は、2017年1月10日（火）までに届くように発送いたします。同日までに届かない場合は、早急に八王子キャンパス入学センター（電話：042-679-5602）まで申し出てください。
2. 受験票が届いたら、必ず開封して内容を確認してください。
3. 受験票は入学式当日まで必要なので、大切に保管してください。
4. 受験票は再発行しません。

入学試験会場

多摩美術大学八王子キャンパス 東京都八王子市鍵水2-1723

※16ページ『美術研究科入学試験会場（八王子キャンパス）への交通』参照。

試験当日の実施情報

試験当日の実施に関する情報を下記のWEBサイトで確認できます。天候や公共交通機関の運行状況等により、試験開始時間に変更がある場合はこちらでお知らせします（携帯電話からも参照可）。

<http://tamabi.jp/adm/>

選考方法

提出論文、提出作品、語学、小論文、口頭試問、提出書類等を総合して選考します。

※過去の入学試験問題については、以下のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.tamabi.ac.jp/admission/data/past.htm>

入学試験日程

2017年1月23日(月) 作品搬入

受付 13:00～14:00 (17:00までに設置完了のこと)

※提出作品には、自己の制作であることを証明する出身大学院等の主任教員等の証明書(提出作品証明用紙[27ページ])を必ず添付してください。ただし、本学大学院博士前期課程(修士課程)修了見込者および本学研究生については不要です。

※提出作品資料とは別の作品ポートフォリオおよびその他資料を提出する場合も、この日に持参してください。

※受験票を必ず持参してください。

※作品の搬入・設置は自己責任で本人が行ってください。

※設置に必要な消耗品は、各自で用意してください。

※設置に必要な備品については、大学院研究室に問い合わせてください。

※提出期間中の設置不備による作品の落下・転倒等については、大学は一切責任を負いません。

※映像作品の場合、再生機材等は各自で用意してください。

2017年1月24日(火) 語学、小論文

語学 10:00～11:30

日本人———英語 ※辞書持込可(ただし、電子辞書は不可)

外国人留学生——日本語・英語よりどちらか選択 ※辞書持込可(ただし、電子辞書は不可)

小論文 12:30～14:30

日本語・英語よりどちらか選択 ※辞書持込可(ただし、電子辞書は不可)

2017年1月25日(水) 口頭試問

日本語で実施します。時間については1月24日(火)に指示します。

※志願者数によっては、1月24日(火)にも実施する場合がありますが、その場合は事前に指示します。

※当日、口頭試問担当教員に別途資料等を配布・提示することはできません。

2017年1月26日(木) 作品搬出

受付 13:00～14:00 (17:00までに搬出完了のこと)

※受験票を必ず持参してください。

採点基準

小論文	・ 着実な論理構成がなされているか ・ 与えられたテーマに対する主体的な発想があるか ・ 学位取得論文を執筆し得る言語表現能力を有しているか
提出論文・提出作品	・ 学位取得論文・作品へと展開する可能性があるか否かを総合的に判断する
口頭試問基準	・ 提出作品の質・小論文の内容・語学試験の結果について、どのように本人が認識しているか ・ 課程入学後の論文執筆・作品制作について、どのような方向性を考えているか ・ 自己の見解を論理的かつ明快に語る能力を有するか

合格発表

2017年1月31日(火) 13:00

[発表方法]

本学ホームページで、受験番号により簡易発表 (<http://www.tamabi.ac.jp>)

[合格通知書および入学手続書類の郵送について]

合格者には「合格通知書」および「入学手続書類」を、補欠者には補欠順位を付した「補欠通知書」を合格発表日に発送します。

[合格発表に関する注意]

- ・ 電話等による可否の問い合わせには一切応じません。
- ・ 合格通知をもって正式な合格とします。

入学手続期限

2017年2月13日(月)まで(消印有効)

期限までに納入金を振り込み、入学手続書類を郵送してください。

※外国人留学生で、2017年2月以降に入国管理局より「在留資格認定証明書」または「在留資格『留学』」が不交付となった場合は、自動的に入学取り消しとなります。また、2017年4月1日までに「在留資格『留学』」を取得していただく必要があります。

学費

2017年度学費は未定のため、2016年度学費を参考に掲載します。

	前期(入学時)	後期(9月)	年間合計	備考
入学金	200,000円	—	200,000円	入学時のみ。本学出身者は不要。
授業料	593,500円	593,500円	1,187,000円	
施設費	120,000円	120,000円	240,000円	
維持費	25,000円	25,000円	50,000円	
実習費	16,000円	16,000円	32,000円	
合計 (本学出身者)	954,500円 (754,500円)	754,500円 (754,500円)	1,709,000円 (1,509,000円)	入学時・9月に分納可。

入学金：

入学時のみ〔他大学出身者のみ〕

私用材料等一括購入預り金：

専門分野により、学費とは別に私用な材料・消耗品・工具・研修等に充当する預り金を徴収します。

版画30,000円、工芸30,000円

校友会費：

終身会費：30,000円（代理徴収）〔他大学出身者のみ〕

注意：入学手続きを完了した方が入学を辞退する場合は、入学辞退届（本学所定用紙）を2017年3月23日（木）までに提出してください。入学金を除く納入金を4月中旬に返金します。

次年度以降の学費：

在学中の学費は入学時の額による一定方式です。

入学

八王子キャンパス（東京都八王子市鎌水2-1723）に入学します。

論文指導について

博士論文の指導については、14ページの「大学院美術研究科 博士後期課程 論文担当教員」の中から大学が指名します。

個人情報の取り扱いについて

本学では、2017年度入学試験時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格者発表、入学手続きおよびこれらに付随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な安全管理を行います。

個人情報の取り扱いについて不明な点等がありましたら下記連絡先に問い合わせてください。

大学資料について

本学無料資料として『大学案内2017』、『入試ガイド2017』『トナトリエ（入試広報誌）』等があります。請求の方法は、テレメール（電話→050-8601-0101、パソコンサイト→<http://telemail.jp/shingaku/>）、郵便（住所、氏名（フリガナ）、電話番号と希望資料名を明記のうえ、〒192-0394 東京都 八王子市 鎌水 2-1723 多摩美術大学 入学センター宛に送付）、大学窓口やイベント会場での配布があります。海外に請求する場合は、事前にnyushi@tamabi.ac.jpまでメールでお問い合わせください。

願書提出先および入学試験に関する問い合わせ先

〒192-0394 東京都八王子市鎌水2-1723
多摩美術大学入学センター
電話：042-679-5602
FAX：042-676-2935
E-mail：nyushi@tamabi.ac.jp

大学院美術研究科 博士後期課程 論文担当教員

教員名	プロフィール
教授 小川 敦生	1959年生まれ／東京大学文学部美術史学科卒業／日経BP社「日経エンタテインメント」誌でクラシック音楽と洋楽を担当。その後「日経アート」編集長、編集委員室編集委員を経て日本経済新聞社文化部で美術担当記者。「画鬼、河鍋暁斎」「光の旅～カラヴァッジョ、ラ・トゥール、レンブラント、フェルメール」「藤田嗣治の技法解明～乳白色の美生んだタルク」などとして多くの記事を執筆。「日経ビジネスオンライン」などに寄稿も。
教授 久保田晃弘	1960年生まれ。情報デザイン学科メディア芸術コース教授/メディアセンター所長。東京大学大学院工学系研究科船舶工学専攻博士課程修了、工学博士。世界初の芸術衛星と深宇宙彫刻の打ち上げに成功した衛星芸術プロジェクト (ARTSAT.JP) をはじめ、バイオアート (BIOART.JP)、ライブコーディングと自作楽器によるライブ・パフォーマンスなど、さまざまな領域を横断・結合するハイブリッドな創作の世界を開拓。芸術衛星1号機の「ARTSAT1:INVADER」でARS ELECTRONICA2015 HYBRID ART部門優秀賞をチーム受賞。「ARTSATプロジェクト」の成果で、第66回芸術選奨の文部科学大臣賞（メディア芸術部門）を受賞。著書に「消えゆくコンピュータ」（岩波書店/1999年）、「ポスト・テクノ（ロジー）ミュージック」（大村書店/監修/2001年）、「FORM+CODE——デザイン/アート/建築における、かたちとコード」（BNN新社/監訳/2011年）、「ビジュアル・コンプレキシティ——情報パターンのマッピング」（BNN新社/監訳/2012年）、「Handmade Electronic Music——手作り電子回路から生まれる音と音楽」（オライリー・ジャパン、監訳、2013年）、「[普及版]ジェネラティブ・アート——Processingによる実践ガイド」（BNN新社/監訳/2014年）、「スペキュラティヴ・デザイン——未来を思索するためにデザインができること」（BNN新社/監修/2015年）などがある。
教授 中村 隆夫	「19世紀のオカルティストたち」を「ふらんす」誌（白水社）にて2016年4月号より連載中。著書に『象徴主義—モダニズムへの警鐘』（東信堂）、『絵画の向こう側』（NHK出版社）、『国内で見られる西洋の名画 全5集』（日本文教出版社）、共著に『バロックの魅力』、翻訳にピエール・カヴァンヌ著『ピカソの世紀』（西村書店）、『続 ピカソの世紀』（西村書店）、フィリップ・クーバー著『キュビズム』（西村書店）、ヴァニナ・コスタ著『オルセー美術館』（福武書店）、共訳にメアリー・ホアングスワース著『世界美術史』（中央公論社）。NHK主催の講演、大田区文化振興会主催の講演、美術館での講演など多数。「報道ステーション」、「王様のブランチ」などで美術解説。NHKラジオ第二放送で「こころを読む～絵画の向こう側」の番組を担当。東京新聞文化欄をレギュラー執筆（1998年3月～2008年3月まで）。産経新聞、東京新聞、北海道新聞、公明新聞で書評記事を多数執筆。
教授 本江 邦夫	1948年松山市生まれ／76年東京大学大学院修士課程（近代美術史）修了／同年秋東京国立近代美術館に入り、マチス（81年）、ゴッゲン（87年）、ルドン（89年）などの回顧展を手がける一方で、国際的なグループショー「メタファーとシンボル」（84年）を皮切りに「手塚治虫」（90年）、「黒田アキ」（93年）、「辰野登恵子」（95年）などの現代的な企画に関与。1994年、96年にはサンパウロ・ビエンナーレの日本側コミッションを務める／主要な著書として『●▲■の美しさって何？—20世紀美術の発見』（ポプラ社；平凡社）、『キュビズムと抽象美術』（小学館、共・編著）、『絵画の行方』（スカイドア）、『オディロン・ルドン』（みすず書房）、『現代日本絵画』（みすず書房）などがある。98年春より多摩美術大学教授（現在に至る）。2001年4月より09年3月まで府中市美術館館長を兼任。
准教授 木下 京子	最近の研究テーマ：「狩野派作品に見る探幽の図像継承とその変容」、「版本による狩野派図像の流布について」「清原雪信の研究」／学歴：大阪教育大学教育学部美術教育学科卒業、大阪大学大学院文学研究科美術史学日本美術史講座修了。文学博士。／職歴：フィラデルフィア美術館東洋美術部学芸員。現在は、同館非常勤学芸員。「本阿弥光悦展」「独立百周年フィラデルフィア万国博覧会125周年記念特別展覧会：WEST MEETS EAST展」「花鳥画展」「池大雅・徳山玉欄展」「親善協力都市25周年記念展：KOBÉ: Japan's Window」「狩野派特別展」など日本美術に関する国際展の企画運営と図録の出版、および常設展やレクチャーを担当。また展覧会に伴う教育ツールや装置の考案。共著『Ink and Gold: Art of the Kano』（Yale University Press）他。
准教授 中村 寛	栃木県宇都宮市生まれ、東京・米国ピッツバーグ・石川県・横浜・米国シカゴで育つ。／研究テーマ：専門は文化人類学。文化人類学や社会学、哲学の蓄積から多くを学びつつ、アメリカおよび日本を当面のフィールドとして、「周縁」における暴力や社会的痛苦、差別と同化のメカニズム、コミュニケーションなどのテーマに取り組んでいます。アメリカでは、特にアフリカ系アメリカ人や、ムスリム、先住民、《カルチャー・クリエイティブ（文化のつくり手）》たちの語り、文化表現、文化構築の試みに注目しています。日本では、とりわけ3.11以降の「危機」とそれに呼応する社会動向および文化実践に注目しています。／大学院生へのメッセージ：大学においてアートやデザインを学ぶことの意味を忘れずに、言葉の繊細さを身に付け、感性を磨きつづけながら、一緒に「文化」をつくっていきましょう。／学歴：一橋大学大学院社会学研究科地球社会研究専攻修了・博士（社会学）。／職歴：関東学院大学・武蔵大学・一橋大学大学院・中央大学非常勤講師。／主要な著書に「残響のハーレム——ストリートに生きるムスリムたちの声」（共和国、2015年）。主要編著に『芸術の授業——Behind Creativity』（弘文堂、2016年）、『Lost and Found』（人間学工房、vol.1～3、2013～2016年）。主要論文に「アーカイヴへの不満——アフリカ系アメリカ人におけるアイデンティティをめぐる闘争」（『文化人類学』（78（2）、2013年）、「文化運動としてのハーレム・ライターズ・クルー——人類学とアートの結節点の探求のために」（『多摩美術大学研究紀要』、2013年）、 <i>Community in Crisis: Language and Action among African-American Muslims in Harlem</i> （博士論文、2008年）など。訳書に『アップタウン・キッズ——ニューヨーク・ハーレムの公営団地とストリート文化』（テリー・ウィリアムズ&ウィリアム・コーンブルム著、大月書店、2010年）。／さまざまな職業のつくり手たち（ミュージシャン、俳優、アーティスト、研究者など）や複数の大学の学生・卒業生たちと《人間学工房》という名前で自主ゼミを開催し、文化運動もおこなっている。
准教授 濱田 芳治	最近の研究テーマ：ブランドプロモーションの視点からのプロダクトプランニング。／大学院教育への思い：社会における大学院のシンクタンクとしての役割を見据えて、デザインの商業的な価値のみならず、文化的側面からもデザインを追求していきたい。／学歴：1994年多摩美術大学立体デザイン科プロダクトデザイン専修卒業。1996年ROYAL COLLEGE OF ART INDUSTRIAL DESIGN 留学。2002年DOMUS ACADEMY MASTER修了。／職歴（本学以前）：1997年ブリヂストンスポーツ株式会社入社。2001年studio galleryworks設立。活動・展覧会歴：デザイン名古屋'95国際コンペティション審査員特別賞、デザインフォーラム'95&'99入選など。2015年度より公益財団法人日本デザイン振興会グッドデザイン賞審査委員。

- ・名誉教授 辻 惟雄
- ・名誉教授 李 禹煥
- ・客員教授 馬越 陽子
- ・客員教授 横尾 忠則

※実技指導（芸術学の論文担当を含む）に関しては、各研究領域担当教員が指導にあたります。

大学院美術研究科 教員構成

専 攻	研究領域・担当科目	教 員 名			
絵画	日本画	岡村桂三郎 千々岩 修	武田 州左	米谷 清和	加藤 良造
	油画	菊地 武彦 野田 裕示 吉澤 美香	木嶋 正吾 日高理恵子 栗原 一成	小泉 俊己 村瀬 恭子 日野 之彦	中村 一美 室越 健美
	版画	古谷 博子	渡辺 達正	佐竹 邦子	
彫刻	彫刻	安倍 千隆 水上 嘉久	笠原恵実子 村井 進吾	川越 悟	多和 圭三
工芸	工芸	池本 一三 野口 裕史	井上 雅之 尹 熙倉	小林 光男	高橋 禎彦
デザイン	グラフィックデザイン	加藤 勝也 澤田 泰廣 野村 辰寿	小泉 雅子 大貫 卓也 佐賀 一郎	上田 義彦 服部 一成 山本 博子	山形 季央 秋山 孝
	プロダクトデザイン	和田 達也 大橋由三子	安次富 隆 V.ユディット	田中 秀樹 濱田 芳治	中田 希佳
	テキスタイルデザイン	弥永 保子 藤原 大	柏木 弘 吉川 真由	川井 由夏	高橋 正
	環境デザイン	岸本 章 吉村 純一	田淵 諭 橋本 潤	栢野 俊明 湯澤 幸子	松澤 穰 米谷ひろし
	情報デザイン	楠 房子 港 千尋 吉橋 昭夫	久保田晃弘 佐々木成明	永原 康史 森脇 裕之	原田大三郎 矢野 英樹
芸術学	芸術学	家村 珠代 建畠 哲 本江 邦夫	海老塚耕一 鶴岡 真弓 諸川 春樹	小川 敦生 西嶋 憲生 安藤 礼二	近藤 秀實 平出 隆 木下 京子
共通選択科目担当		青木 淳 中村 隆夫 深津 裕子	伊集院清一 松浦 弘明	小穴 晶子 松田 直成	佐藤 達郎 中村 寛

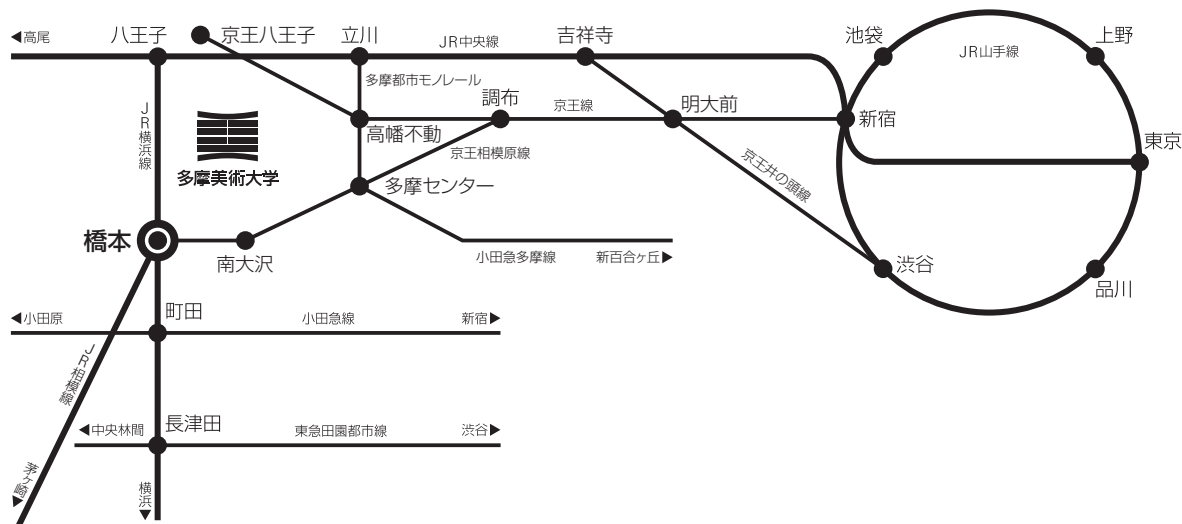
2016年7月現在のものであり、2017年度においては変更になる場合があります。

教員の実績についてはWEBサイトより参照することができます。

掲載ページ → <http://faculty.tamabi.ac.jp/>

美術研究科入学試験会場（八王子キャンパス）への交通

入学試験会場：多摩美術大学八王子キャンパス（東京都八王子市鎌水2-1723）Tel. 042-676-8611（代表）



=八王子キャンパス最寄駅（橋本駅）からの路線バス利用について=

多摩美術大学八王子キャンパスまでは、橋本駅からの路線バスを利用してください。バスの円滑な運行のために、あらかじめ小銭やICカード（スイカ・パスモ等）を用意し、整列乗車にご協力ください。

橋本駅からの路線バス（北口6番乗場より神奈川中央交通バス「多摩美術大学行」）

運賃：片道180円 多摩美術大学（終点）まで約8分

[主要駅から橋本駅までの交通]

新宿駅から

京王線新宿駅「橋本行（特急・急行・区間急行・快速）」を利用。所要時間約55分。
「京王八王子行（特急・急行・区間急行・快速）」「高尾山口行（特急・準特急・急行・区間急行・快速）」を利用する場合は、調布駅で橋本行に乗り換え。所要時間約55分。

八王子駅から

JR横浜線を利用。所要時間約12分。

横浜駅・町田駅から

JR横浜線「八王子行」「橋本行」を利用。横浜駅から所要時間約50分。町田駅から所要時間約15分。

上記以外の路線バスを利用して大学に来ることもできますが、時刻表や所要時間を調べたうえで利用してください。

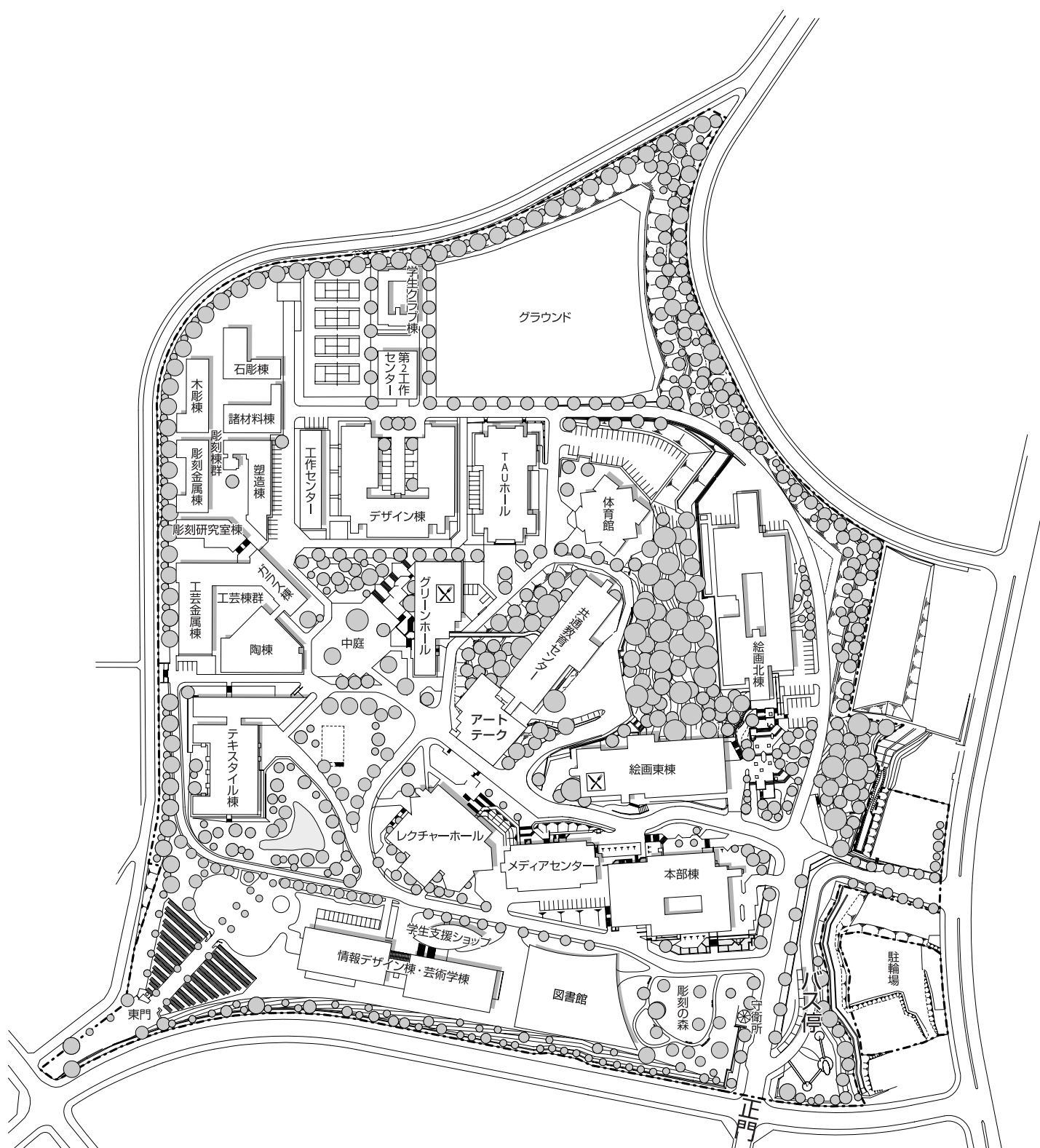
※八王子駅から路線バスやタクシーを利用する場合は、国道16号線の道路事情や降雪など不測の事態で遅れることがありますので、十分ご注意ください。

注意：入学試験会場の下見、入学試験当日、合格発表日など、八王子キャンパスに来校の際は、路線バスを利用してください。

：時刻表や所要時間を調べたうえで利用してください。

路線バス運行・遺失物に関するお問い合わせ 神奈川中央交通（株）多摩営業所 Tel. 042-678-6550
京王バス南（株）南大沢営業所 Tel. 042-677-1616

八王子キャンパスマップ



※食堂は☒マークのある「グリーンホール」および「絵画東棟」です。

各種奨学金制度および授業料減免制度

2017年度 本学独自奨学金（すべて給付型）※予定

以下の本学独自の奨学金制度があります。一部を除き併願も可能です。

名称	出願できる者	年額	採用人数
学業成績優秀者奨学金	前年度学内成績優秀者（入学年度、博士後期課程学生は除く）	20万円	約170名
特別優秀顕彰奨学金	学外活動等で顕著な実績をあげた者（入学年度、博士後期課程学生は除く）	10万円	約30名
ワークスタディ奨学金	経済的に修学困難な学生でJASSO等の奨学金を貸与中もしくは申請中であり授業の空き時間や休業期間に計画的に一定時間以上作業に従事できる者（博士後期課程学生は除く）	24万円 (半期12万円×2)	約25名
交換留学生奨学金	本学から海外協定校へ交換留学する者（学部1年生は除く）	20万円	18名程度
大学院学修奨励制度 研究発表活動奨励金	本学の定める条件に合致している場合、申請により全員に給付	10万円	約280名
博士後期課程 研究活動奨励奨学金	本学の定める条件に合致している場合、申請により全員に給付 (在学延長者、国費留学生は除く)	40万円	約20名
石間奨学金	大学の卒業間近かつ学業意欲のある、授業料に困窮をきたす最終学年の者	50万円	1名
多摩美術大学校友会奨学金	制作、研究活動に熱心で経済的助成を望む者	25万円	10名
多摩美術大学校友会 私費留学生奨学金	制作、研究活動に熱心で経済的助成を望む者（学部1・2年生は除く）	10万円	5名程度

日本学生支援機構（JASSO）奨学金〔貸与〕は日本学生支援機構（<http://www.jasso.go.jp>）へ、民間団体奨学金〔給付〕については本学学生課（042-679-5606）へお問い合わせください。

2017年度 本学独自授業料減免制度 ※予定

以下の本学独自の授業料減免制度があります。

名称	出願できる者	減免額	採用人数
緊急支援制度 (激甚災害については別途対応)	◎主たる家計支持者の死亡や後遺障がいによる失職等 ◎主たる家計支持者の家屋等が災害に遭い甚大な被害を受けた場合 いずれの場合もJASSO等の奨学金を貸与中もしくは申請中であること（新入生は後期より申請可能）	年間授業料の 半額減免 (後期申請者は 半期授業料の 半額減免)	年間20名を 限度
経済的支援授業料減免制度	◎前年度緊急支援制度適用者で家計収入の回復が見込めない場合 ◎JASSO等の奨学金を貸与中であり、かつ経済的に修学困難な場合 いずれの場合も世帯収入等による審査あり（新入生は後期より申請可能、国費留学生は除く）	半期授業料の 20%減免 (半期毎に募集)	年間約280名 (前・後期合計)
兄弟姉妹授業料減免制度	本学の正規課程に同時に兄弟姉妹が在籍する場合 (一方が休学・留年した場合および留学生は除く)	それぞれ 年間授業料の 20%減免	約50名
博士前期課程授業料減免制度	◎JASSO第一種奨学金予約採用者 ◎学部在籍時にJASSO奨学金貸与者で進学後前期中にJASSO第一種奨学金の貸与を受けることとなった者 いずれの場合も世帯収入等による審査あり (休学・留年した場合は除く)	年間授業料の 20%減免	約60名
私費外国人留学生授業料減免制度	仕送り119,999円以下で、かつ家賃61,999円以下（賃貸契約書で確認）の者。2年次以上については、前年度学内成績の平均が2.0(B評価)以上の者（その他基準あり）	年間授業料の 20%減免	約120名